

安心して暮らせる 安全なまち

施策分野 6-1 防災 90

施策分野 6-2 生活安全 93
(防犯、市民相談、交通安全、消防)

施策分野 6-3 基地安全対策 96

施策分野 6-1

防災



現状と課題

- 東日本大震災をはじめ、熊本地震、能登半島地震などの教訓を生かしながら、発生の切迫性が高い首都直下地震を見据えるとともに、近年、激甚化している集中豪雨や国民保護が必要な事態にも対応できるよう、市及び関係機関のほか、市民や事業者が主体的に取り組み、災害等に強いまちづくりをより強力に進めていくことが必要です。
- 住宅密集地を抱える大和市では、大規模地震発生に伴って、同時に多発する火災や建築物の倒壊、これらに起因する道路の寸断などにより、消火活動や救助活動等が困難になることが想定されます。こうした状況の中で命を守るためには、市民一人ひとりの迅速な行動や、避難行動要支援者への支援も含む地域での助け合いなどが重要です。
- 行政によって、災害時の応急対策や復旧対応が速やかに進められるようにするとともに、多数の負傷者が発生した場合にも必要な医療を提供できるようにすることが重要です。
- 大規模災害発生時には、様々な年代や国籍の避難者が避難生活施設で過ごすことに加え、自宅などで避難生活を送る方もいることを考慮し、必要な物資が行き届くようにするなど、避難生活における負担ができる限り小さくなるように支援する必要があります。
- 大規模地震や集中豪雨等により発生する、建築物の倒壊、土砂災害及び河川の氾濫などの自然災害に伴う被害を最小限に抑えるため、市民や事業者の協力を得ながら対応策を実施していく必要があります。

施策の方針

- 災害等の発生時に自助・共助・公助の機能が最大限発揮されるよう、市民や地域などによる取り組みについて、その必要性の周知啓発や平時における活動への支援を行うとともに、被害の最小化と速やかな復興に向けた行政の対応力を高める体制や仕組みを整えます。
- 高齢化などを踏まえた災害時の応急対策や復旧対応を関係機関と連携して速やかに進められる体制や制度を整備します。
- 市民一人ひとりや地域において、災害時におけるライフラインの停止も想定し、水や食料などの十分な備えを行うことが図られるとともに、実際の災害の際には適切な避難行動、応急対応がとられるよう、様々な機会を捉え、市民を守ることにつながる意識啓発を進めます。
- 公共交通機関、学校、事業者、警察等と連携を図り帰宅困難者対策に取り組みます。
- 市立病院では、災害時に地域の医療救護活動において中心的な役割を担えるよう、地域災害拠点病院としての体制整備を進めます。
- 避難者の多様性、感染症対策等に配慮した避難生活施設の運営を行うとともに、自宅などで避難生活を送る市民への対応が可能となるように備えます。
- 地震による建築物の倒壊や火災による延焼拡大を防止するため、建物の耐震化と不燃化を推進します。また、災害時の避難路や緊急輸送路の確保を図ります。
- 市街地の浸水被害軽減に向けた総合的な治水対策を進め、都市の防災機能を高めていきます。

めざす姿と主な取り組み

めざす姿 6-1-1

災害に対して自ら備えをしている

主な取り組み

- 自主防災組織及び避難生活施設運営委員会の活動への支援
- 建築物の耐震化、不燃化、ブロック塀等の安全対策への支援
- 避難行動要支援者に対する地域における支援体制づくりへの支援
- 防災、減災意識の普及啓発

成果指標	現状	目標
災害に対して備えている市民の割合	28.2%	向上
地域防災訓練を実施している自治会の割合	53.0%	83.0%
防災講話の受講団体数	26団体	44団体
避難行動要支援者名簿をもとに、支援体制づくりの取り組みを行っている自治会の割合	43.2%	100%
住宅の耐震化率	96.1%	98.2%以上

めざす姿 6-1-2

防災・減災のしくみが整っている

主な取り組み

- 防災と復興に向けた公助の強化
- 避難生活施設の運営支援
- 医療救護体制の整備
- 帰宅困難者対策
- 災害の発生に伴う避難情報や国民保護に関する情報の発信体制の整備
- 市立病院における災害拠点病院としての体制整備

成果指標	現状	目標
災害による被害を軽減するための取り組みが充実していると思う市民の割合	18.8%	向上
想定避難者数に応じた非常食料の備蓄率	100%	毎年度100%
LINE お知らせで防災情報の受信設定をしている市民の数	25,237人	31,900人

めざす姿 6-1-3

都市の防災機能が充実している

主な取り組み

- 雨水の河川流入抑制も含む総合的な治水対策
- 大規模盛土造成地の調査

成果指標	現状	目標
雨水整備率	69.8%	毎年度70.0%

関連する個別計画

- 大和市国土強靱化地域計画
- 大和市危機管理基本方針
- 大和市国民保護計画
- 大和市地域防災計画
- 大和市業務継続計画
- 大和市消防計画
- 大和市耐震改修促進計画
- 大和市下水道総合地震対策計画
- 大和市下水道ストックマネジメント計画
- 大和市下水道事業業務継続計画
- 河川防災管理計画

施策分野 6-2

生活安全

(防犯、市民相談、
交通安全、消防)



現状と課題

- 市内の刑法犯認知件数は減少傾向にありますが、特殊詐欺などの知能犯は一定程度の件数で発生し続けており、引き続き、積極的な防犯対策を進める必要があります。
- 近年、急速に普及しているオンラインショッピングやキャッシュレス決済などに関連する消費者問題が発生しています。
- 市内全体での交通人身事故発生件数は減少傾向にあります。引き続き、交通事故の削減に取り組むことが重要です。
- 災害に迅速に対応するため、消防車両、施設、資機材の計画的な整備・更新が必要です。
- 救急車の出動件数及び搬送人員は増加傾向にあるため、救急需要への対応が喫緊の課題となっています。

施策の方針

- 防犯に関する地域の取り組みを支援します。
- 多様な消費者問題への対応を支援します。
- 地域の交通情勢に応じた交通安全対策を実施します。
- 消防・救急・救助の体制を整えます。

めざす姿と主な取り組み

めざす姿 6-2-1

犯罪が起きにくい環境で暮らしている

主な取り組み

- 地域における防犯活動の推進、支援
- 防犯活動団体、関係機関等と連携したパトロールの実施

成果指標	現状	目標
治安が良いと思う市民の割合	45.1%	向上
年間刑法犯認知（発生）件数	1,790件	1,250件
年間特殊詐欺（発生）件数	55件	49件

めざす姿 6-2-2

安心して消費生活を送っている

主な取り組み

- 消費生活におけるトラブルなどへの相談支援及び相談員の資質向上
- 消費者問題に関する市民の意識啓発

成果指標	現状	目標
安心して消費生活を送っている市民の割合	57.4%	向上
消費生活相談件数のうち、解決済みの割合	98.1%	毎年度100%
消費生活センターの役割や業務内容について知っている市民の割合	56.0%	74.0%

めざす姿 6-2-3

交通事故が起きにくい環境で暮らしている

主な取り組み

- 幅広い世代に向けた交通安全に関する啓発
- 交通安全施設（カーブミラー、ガードレール等）の設置

成果指標	現状	目標
交通事故の不安がなく暮らしている市民の割合	39.9%	向上
交通人身事故発生件数	661件	561件
交通安全教室等参加者数（イベントを除く）	15,572人	16,351人
自転車の適正通行率	67.5%	72.5%

めざす姿
6-2-4

十分な消防力が整っている

主な取り組み

- 火災予防に関する意識啓発
- 消防車両、施設、資機材の整備・更新
- 住宅や商業施設などの建物への安全指導
- 消防団員の確保
- 市民の応急手当に関する技術習得への支援
- 救急救命体制の充実強化
- 四市（大和市、海老名市、座間市、綾瀬市）による消防通信指令事務の共同運用実現に向けた取り組みの実施

成果指標	現状	目標
大和市では、消防・救急・救助体制が整っていると思う市民の割合	49.7%	向上
火災発生率（人口1万人あたりの火災発生件数）	2.0件	毎年0件
救命講習受講者資格取得者数（累計）	49,359人	57,159人
救急車の医療機関到着までの所要時間	38.5分	38.5分

関連する個別計画

- 大和市消防計画

1

2

3

4

5

6

7

施策分野 6-3

基地安全 対策



現状と課題

- 厚木基地は全国でも類を見ない人口密集地域に所在する航空基地であり、厚木基地の運用に伴う騒音や事故への不安など、市民生活に様々な影響を及ぼしています。
- 在日米軍再編に伴い、平成30（2018）年に空母艦載機（ジェット戦闘機）部隊が厚木基地から岩国基地に移駐しましたが、その後も市内では日常的な騒音被害が続いており、空母艦載機などジェット戦闘機が飛来した際には甚大な騒音被害が市内の広域に及び、極めて深刻なものとなります。
- 厚木基地の運用に伴い、航空機の部品紛失や基地外への燃料漏出などの事故も発生しています。

施策の方針

- 厚木基地の運用に伴う騒音被害の軽減に向けて取り組みます。
- 厚木基地に関連する事故等の未然防止や再発防止の徹底等を図ります。

めざす姿と主な取り組み

めざす姿 6-3-1

厚木基地の騒音対策や安全対策が進んでいる

主な取り組み

- 厚木基地の運用に伴う騒音や安全確保に関する国、米軍等への要望
- 基地問題解決に向けた県や厚木基地周辺市などとの連携

成果指標	現状	目標
時間帯補正等価騒音レベル (Lden)	60.4	逡減